



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 株式会社LibWork 上場取引所 東・福  
 コード番号 1431 URL https://www.libwork.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬口 力  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 難家 嘉之 (TEL) 0968 (44) 3227  
 配当支払開始予定日 2026年6月3日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	9,506	△16.5	△114	—	△303	—	△267	—
2025年6月期第3四半期	11,390	12.4	430	514.5	446	359.8	278	626.8

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 △267百万円(—%) 2025年6月期第3四半期 278百万円(626.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	△11.48	—
2025年6月期第3四半期	11.89	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	13,563	4,346	32.0
2025年6月期	11,523	4,714	40.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 4,346百万円 2025年6月期 4,714百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	1.60	1.60	1.60	1.60	6.40
2026年6月期	1.60	1.60	1.60		
2026年6月期(予想)				1.60	6.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△6.3	500	△40.0	520	△39.2	190	△61.6	8.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期3Q	24,151,540株	2025年6月期	24,151,540株
2026年6月期3Q	885,713株	2025年6月期	902,155株
2026年6月期3Q	23,259,005株	2025年6月期3Q	23,383,530株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の継続、企業の設備投資意欲の底堅さなどを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の長期化による個人消費への影響、為替相場や金融資本市場の変動、海外経済の減速懸念、中東情勢の緊迫化、米国の通商政策など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、建築資材価格や人件費の高止まりを背景として住宅販売価格の上昇傾向が継続しており、住宅ローン金利の先高観等と相まって、住宅取得マインドに影響を及ぼしております。また、国土交通省が公表した2025年度の新設住宅着工戸数は、71万1,171戸（前年度比12.9%減）となり、2年ぶりに減少するなど、住宅需要は弱含みで推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、主力の戸建住宅事業において、確度の高い見込み客の獲得に重点を置いたデジタルマーケティング施策を推進し、来場単価の低減及び来場率の向上に取り組んでまいりました。また、DX及びAIの活用による営業・設計業務の効率化、並びに住宅プラットフォーム事業や3Dプリンター住宅事業の推進に取り組んでまいりました。

3Dプリンター住宅事業におきましては、2026年1月より販売予約受付を開始いたしました。国内初となる土を主原料にした3Dプリンター住宅「Lib Earth House」については、発表以来、来場予約や資料請求などの反響件数が累計1,500件を超え、国内外から高い関心が寄せられております。当社は、持続可能な素材と最新テクノロジーを融合させた新たな住まいの選択肢として、国内はもちろんのこと、グローバル展開を見据えた取り組みを進めております。また、当社は株主優待制度の一部を見直し、新たに3Dプリンター住宅の割引券を進呈する制度を新設することを決議いたしました。株主還元の実現とともに、当事業の認知拡大及び販売促進につなげてまいります。

さらに、当社は、中長期的な成長戦略の一環として、関東エリアでの事業拡大を重要施策と位置付けており、2026年6月1日を効力発生日として、神奈川県横浜市で建売住宅事業を展開する完全子会社のタクエーホーム株式会社を吸収合併することを決議いたしました。本合併により、マネジメントライン及び経営資源を一元化し、意思決定の迅速化と運営の効率化を図ることで、関東市場におけるシェア拡大と持続的な企業価値向上を目指してまいります。

また、収益面におきましては、建築資材価格や人件費の高止まりが継続するなか、当社グループが推進する「住宅版SPA戦略」に基づく垂直統合型モデルの効果が利益面に寄与いたしました。製材加工を担う幸の国木材工業株式会社を子会社化したことにより、木材調達・加工におけるグループ内連携が進展したほか、主要工種の内製化も安定的に推移したことで、原価管理の精度向上及び施工効率の改善が図られました。その結果、注文住宅における売上総利益率は30%以上を確保し、堅調に推移いたしました。一方で、2025年4月に施行された改正建築基準法への対応に伴い、確認申請や設計実務における業務負荷が高まっております。その結果、一部案件において建築確認申請から着工までの期間が長期化し、工事進捗及び引渡し時期が当初計画より後ろ倒しとなったことにより、当第3四半期連結累計期間における売上計上時期にも影響が生じております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は9,506,933千円（前年同四半期比16.5%減）、営業損失114,989千円、（前年同四半期は営業利益430,337千円）、経常損失303,613千円、（前年同四半期は経常利益446,746千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失267,114千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益278,111千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は13,563,084千円となり、前連結会計年度末残高11,523,490千円に対し、2,039,594千円増加しました。主な要因は、販売用不動産及び仕掛販売用不動産の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は9,216,174千円となり、前連結会計年度末残高6,808,924千円に対し、2,407,250千円増加しました。主な要因は、販売用不動産及び仕掛販売用不動産の仕入による、短期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,346,909千円となり、前連結会計年度末残高4,714,566千円に対し、367,656千円減少しました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純損失及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月12日の「2026年6月期 第2四半期（累計）業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,897,392	2,826,962
完成工事未収入金等	27,071	38,031
売掛金	86,275	65,361
暗号資産	-	312,293
未成工事支出金	519,018	1,038,409
販売用不動産	2,847,645	3,858,252
仕掛販売用不動産	1,353,187	2,229,922
商品及び製品	162,323	155,802
原材料及び貯蔵品	85,258	77,272
その他	326,110	543,298
流動資産合計	9,304,283	11,145,607
固定資産		
有形固定資産	1,506,513	1,348,137
無形固定資産		
のれん	167,224	148,645
その他	42,695	30,238
無形固定資産合計	209,920	178,884
投資その他の資産	502,773	890,455
固定資産合計	2,219,207	2,417,477
資産合計	11,523,490	13,563,084
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	863,069	881,784
短期借入金	2,033,755	4,178,800
1年内返済予定の長期借入金	286,608	274,608
リース債務	3,586	1,878
未払法人税等	96,986	26,138
未成工事受入金	646,688	1,366,126
賞与引当金	-	38,716
株主優待引当金	117,692	103,250
資産除去債務	6,300	7,292
その他	811,691	648,884
流動負債合計	4,866,377	7,527,478
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	1,286,033	1,032,077
リース債務	3,019	1,751
繰延税金負債	24,822	15,793
役員退職慰労引当金	104,016	107,027
完成工事補償引当金	4,952	4,853
株式給付引当金	75,864	88,294
資産除去債務	122,080	115,119
その他	121,757	123,780
固定負債合計	1,942,546	1,688,696
負債合計	6,808,924	9,216,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,321,507	1,321,507
資本剰余金	1,315,074	1,324,323
利益剰余金	2,614,029	2,233,648
自己株式	△536,045	△532,568
株主資本合計	4,714,566	4,346,909
純資産合計	4,714,566	4,346,909
負債純資産合計	11,523,490	13,563,084

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
売上高	11,390,091	9,506,933
売上原価	8,371,121	6,757,883
売上総利益	3,018,970	2,749,050
販売費及び一般管理費	2,588,632	2,864,039
営業利益又は営業損失(△)	430,337	△114,989
営業外収益		
受取利息	1,892	6,560
受取手数料	7,536	8,925
受取保険金	5,154	7,742
補助金収入	10,660	29
助成金収入	-	6,000
解約金収入	9,837	4,870
その他	6,930	6,947
営業外収益合計	42,011	41,074
営業外費用		
支払利息	23,547	41,540
自己株式取得費用	1,599	-
暗号資産評価損	-	187,705
その他	455	453
営業外費用合計	25,602	229,699
経常利益又は経常損失(△)	446,746	△303,613
特別利益		
固定資産売却益	301	153
特別利益合計	301	153
特別損失		
固定資産除却損	289	-
特別損失合計	289	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	446,758	△303,459
法人税、住民税及び事業税	153,805	41,620
法人税等調整額	14,840	△77,966
法人税等合計	168,646	△36,345
四半期純利益又は四半期純損失(△)	278,111	△267,114
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	278,111	△267,114

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	278,111	△267,114
四半期包括利益	278,111	△267,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,111	△267,114

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

#### ・従業員向け株式交付信託

2025年8月28日付で、信託を用いた従業員向けインセンティブ・プランに対する株式報酬のために、自己株式の処分を行いました。その結果、資本剰余金が6,814千円増加し、自己株式が同額減少しております。

#### ・譲渡制限付株式報酬

2025年10月24日付で、当社取締役（社外取締役を除く）及び当社従業員、子会社取締役並びに子会社従業員に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式16,243株を給付しました。その結果、資本剰余金が2,430千円増加、自己株式が10,157千円減少しております。

(追加情報)

(連結子会社の吸収合併について)

当社は、2026年2月20日付の取締役会において、当社の連結子会社であるタクエーホーム株式会社（以下、「タクエーホーム」）を吸収合併（以下、「本合併」）することを決議いたしました。

#### 1. 企業結合の概要

##### (1) 結合当事企業の名称及びその事業内容

###### ・結合企業

企業の名称：株式会社L i b W o r k

事業の内容：戸建住宅事業

###### ・被結合企業

企業の名称：タクエーホーム株式会社

事業の内容：戸建住宅事業

##### (2) 企業結合日

2026年6月1日

##### (3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、タクエーホームを消滅会社とする吸収合併方式です。（簡易合併・略式合併）

##### (4) 結合後企業の名称

株式会社L i b W o r k

##### (5) その他の取引の概要に関する事項

当社は、中長期的な成長戦略の一環として、関東エリアでの事業拡大を重要施策と位置付けております。今回、神奈川県横浜市で建売住宅事業を展開するタクエーホームを吸収合併し、マネジメントライン及び経営資源を一元化することで、商品特性の異なる注文住宅・建売住宅の双方において意思決定の迅速化と運営の効率化を図ります。これにより、グループ全体としての総合力と競争力を高め、関東市場におけるシェア拡大と持続的な企業価値向上を目指してまいります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、戸建住宅事業（建築請負事業及び不動産販売事業の総称）の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは、戸建住宅事業（建築請負事業及び不動産販売事業の総称）の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	192,081千円	211,731千円
のれんの償却額	26,007	18,578